

## 事業実績書

団体名	小鯖地域づくり協議会
-----	------------

## 1 地域づくりの活動方針(テーマ)

地区住民および各種団体が連携・協力して、豊かで住みよい安全な地域づくりを進める。

## 2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	組織団体を含め地域づくりの取組み・しくみの課題を探り見直して、新たな地域づくりを目指す取組み		
	事業名	小鯖これからプロジェクト	決算額	計) 835,232円
②	視点	年々大災害が発生する現況を見据え、地域の防災意識の向上に努める取組み(山口市防災実動訓練参加)		
	事業名	自主防災支援事業	決算額	計) 137,062円
③	視点	高齢者を抱える家族及び市域をサポート・支援出来る環境づくり		
	事業名	高齢化社会に向けた施策	決算額	計) 5,998円

## 3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①小鯖これからプロジェクト : 多くの協力者、地元のアンケート調査への理解により、2,791件(回収率87.4%)の住民の声を聞くことが出来ました。性別を問わず中学生以上の幅広い世代から声、意見を聞き、日常生活で不安・困っていることややってみよう・協力できる活動他等を集計したデータを取ることが出来たことは大きな成果です。このデータを基に、小鯖地域内の団体の活動にも参考になるもので、時間をかけてでも「地域づくりの改善」に繋がればと考えています。	◎
②自主防災支援事業 : 今年度、山口市防災危機管理課と共催で「小鯖地域防災実動訓練」実施計画されていて、参加地区を対象に事前説明会や地元の危険個所の把握する研修を行う等して準備をして来ましたが、コロナ禍により最終的に「避難情報伝達訓練」、「避難所資材設営」のみを実施しました。多くの地区で伝達手段を見直す機会になったという声があり、今後の備えに役立ちました。	○
③高齢化社会に向けた施策 : 大きな課題である「ひきこもり対策」、「認知症」への対応として、講習会【認知症サポーター講習、福祉体験】を健康福祉部会の取組みとして実施し、参加者には理解して頂けました。しかし、今後においては単一部会の取組みではなく、「助け合い、支え合い」への取組み方の中で総体的に検討して行く必要があります。	○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

## 4 総括

今年度は、協議会委員の負担軽減を目指し、専門部会の事業を2事業以下に整理すると共に、事務局で対応出来る事務処理のみの事業を引き受け、そして外部の協力を得て「全住民アンケート」実施の3本柱による取組みをして、活動しやすくなったという効果がありました。今後、アンケート結果を精査し、5、10年後の小鯖地域づくりに向けた第4次地域づくり計画策定を進めます。

## 5 事業内容

### (1) 協議会運営

事業費	5,351,964円
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数):事務局長 1名、事務局員 2名 計 3名</p> <p>(運営費の主な内容):事務局人件費、事務費、通信費、各事業費の管理、広報活動 他</p> <p>(成果・評価):年間を通じて滞りなく事務局運営を行いました。</p> <p>(今後に向けて):令和2年度に実施した「全住民アンケート」を基に、第4次「小鯖地域づくり計画」(令和5～9年度)策定に向けた体制づくりを進めていきます。</p>

### (2) 地域振興

事業名	2-① 助け合い・支え合い活動の立ち上げに向けて、
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容):講師に平田隆之氏(NPO法人市民プロデュース)を迎え、「ボランティアについて ～協議会の役割と住民参加～」について講演いただき、地域づくりを考える機会をもちました。</p> <p>(実施時期):勉強会開催(11月24日)</p> <p>(参加人数):約35名</p> <p>(成果):講師から「地域づくりは協議を積み重ねる場」、「地域住民同士が話し合う必要性」を重点的に説明があり、「ボランティア活動」はそれに付いてくるものだという内容主旨で、参加者も理解出来たという感想でした。</p> <p>(評価):-</p> <p>(今後に向けて):まず、「全住民アンケート」から見えてくる必要な活動、ボランティアを含め考えていきます。</p>

### (3) 地域福祉

事業名	3-① 生きがいつくり支援
事業費	38,922円
事業概要	<p>(実施内容):「生きがいつくり」として、高齢者生きがいセンターを活用したさばろっち交流広場活用のPR、健康や生きがいをポイントにしたグラウンドゴルフの支援に取り組みました。</p> <p>(実施時期):「さばろっち交流広場」常時開設。健康グラウンドゴルフ(10月18日)</p> <p>(参加人数):「さばろっち交流広場」の利用者数は約300人/年で減少傾向(里の駅にも集いの場が出来たため)。「健康グラウンドゴルフ」(44人)</p> <p>(成果):グラウンドゴルフは大会としてでなく健康増進を目標にしたもので、参加者は楽しくプレー出来、目的を達成しました。</p> <p>(評価):-</p> <p>(今後に向けて):継続して活動出来るよう支援していくことが大事と考えます。</p>

事業名	3-② 高齢者サポート
事業費	5,998円
事業概要	<p>(実施内容):高齢者在宅家族サポート研修・講習を実施しました。</p> <p>(実施時期):認知症サポーター講習会(10月25日) 福祉体験【車椅子、白内障】(3月3日)</p> <p>(参加人数):参加主体を福祉員、新民生児童委員、部会委員として開催</p> <p>(成果):今後、家庭や地域での介護支援を配慮した在宅家族サポート講習会が必要と思われます。</p> <p>(評価):-</p>

(今後に向けて):令和3年度以降は、包括支援センターが推進する「地域包括ケアシステム」とタイアップした形で検討を進めます。

#### (4)安心・安全

事業名	4-① 生活安全対策
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): 各地区自治会長に依頼し、空家の実態を調査を実施しました。</p> <p>(実施時期): 調査(7月21日～8月末)、調査結果説明(12月10日)</p> <p>(参加人数): 23地区自治会長を通じて、対象1,900戸を調査</p> <p>(成果): 空家としての確認は106戸。その内、防火防犯上対応が必要なもの 3戸。地区自治会で対応が難しいため、山口市に連絡し、対応してもらいます。</p> <p>(評価): -</p> <p>(今後に向けて): 空家の防火防犯上の具体策に向けて、継続して検討を進めます。</p>

事業名	4-② 交通安全対策
事業費	13,176円
事業概要	<p>(実施内容): 地区内において交通安全上、危険と思われる個所の調査を各地区自治会の協力を得て調査しました。</p> <p>(実施時期): 交通上危険な個所の調査 調査期間(7月21日～8月末)、調査結果説明(12月10日)</p> <p>(参加人数): -</p> <p>(成果): 交通危険箇所情報 6件申請があり、警察等と立会い調査も行き、その後標識・表示の改善がそれぞれ対応されました。</p> <p>(評価): この取組みは3年継続している事業ですが、地域内において、安全上大事な取組みと評価を得ています。</p> <p>(今後に向けて): 交通安全運動期間中は、交通危険箇所を巡回して安全意識を高めるよう努めます。</p>

#### (5)環境づくり

事業名	5-① 地域環境整備 (萩往還整備、鳴滝公園プール整備、正田山の環境整備)
事業費	112,965円
事業概要	<p>(実施内容): 小鯖地区内のハイキングコースになっている萩往還道周辺(重点的に山口防府市境の佐波山トンネル地区の約800m)の草刈り等の整備、また鳴滝河川プール開き前に周辺の草刈り整備を行ないました。</p> <p>(実施時期): 萩往還整備年2回(6月14日、10月10日)、鳴滝公園プール(7月18日)</p> <p>(参加人数): 萩往還(6月14日 30人、10月10日21人)、鳴滝(20人)</p> <p>(成果): この取り組み事業も6年に経ちましたが、萩往還や鳴滝河川の環境保全の意識も高くなり、参加者数の増減はありますが定着化してきています。</p> <p>(評価): 萩往還コースを散策される方々にも喜んでいただいています。また、自然の中の河川プールということで、市外からの家族連れも多く見られます。</p> <p>(今後に向けて): 小鯖の財産である萩往還、鳴滝河川プールの整備は、継続して行きます。</p>

#### (6)地域個性創出

事業名	6-① ニュースポーツ等の振興
事業費	23,064円
	<p>(実施内容): ニュースポーツ(ボッチャ、ペタンク、クブ)の体験会を企画し実施しました。</p> <p>(実施時期): 11月15日</p>

事業概要	<p>(参加人数): 17人(幼児から高齢者までの参加)</p> <p>(成果):新しいスポーツに親しめる機会を増やし、地域内のサロン活動にも紹介し、普及して行けるよう目標が出来ました。</p> <p>(評価):参加者からは、今後も体験会を重ね、人の交流が広がれば、競技会を開催しても良いのではという声がありました。</p> <p>(今後に向けて): スポーツの既成のルールに拘らずに、皆が楽しめる新しい楽しみ方を考える事を検討します。</p>
------	--

(7)小鯖地域自主防災会

事業名	7-① 小鯖自主防災訓練・研修の推進事業
事業費	2,612円
事業概要	<p>(実施内容):令和2年度の大きな取組みとして、山口市防災危機管理課と共催で、「小鯖地域防災実動訓練」を実施しました。コロナ禍により、訓練内容を絞り込み、参加地区のみ『避難情報伝達訓練(レベル3)』、見学参加希望者には小鯖小学校体育館内に「避難所施設」設営したものを見学してもらいました。</p> <p>(実施時期):事前説明会 令和2年8月24～26日 防災実動訓練(避難情報伝達訓練、避難所施設見学) 令和3年3月14日</p> <p>(参加人数): 避難情報伝達訓練 17地区 避難所施設見学 約20人</p> <p>(成果):地区の防災訓練内容は第1避難所に避難することにポイントを置かれ事前準備として来られました。最終的には、コロナ禍により「避難情報伝達訓練」のみになりましたが、「普段からの心がけ」という防災意識は高まっています。</p> <p>(評価):各地区の現在の情報連絡手段を見直すいい機会になったという声が多くありました。</p> <p>(今後に向けて):「災害は忘れた頃にやって来る」事からしても、研修訓練等は継続して単位地区の防災会と共に推進して行きます。</p>

事業名	7-② 災害発生防止対策事業
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容):小鯖地域防災実動訓練の一環として取組みました。</p> <p>(実施時期): 令和3年3月14日</p> <p>(参加人数):—</p> <p>(成果):—</p> <p>(評価):—</p> <p>(今後に向けて):次年度は、防災研修等の計画とも合わせ、実施するよう進めます。</p>

事業名	7-③ 避難時必要資材充足
事業費	134,450円
事業概要	<p>(実施内容):自主防災及び避難に関連した資材補充を行ないました。</p> <p>(実施時期):令和2年6月～令和3年3月</p> <p>(参加人数): —</p> <p>(成果): ホワイトボード、非常食等を購入しました。</p> <p>(評価):—</p> <p>(今後に向けて):避難時に必要と思われる資材を主に補充していくよう進めます。</p>

(8) 補助・助成事業

事業名	8-① 地域活性化事業
事業費	52,498円

事業概要	<p>(実施内容):当初は、「そうめん流し支援」の計画であったが、夏まつり中止となり、小鯖写真コンテストに変更し、写真募集、審査、表彰、展示を行いました。</p> <p>(実施時期):令和2年9月～12月</p> <p>(参加人数):応募作品32点(応募者13人)</p> <p>(成果):今回で9回目の写真コンテストとなりますが、コロナ禍の影響でまつり等の行事が中止になり、応募作品も自然風景が題材になったものが多くありました。</p> <p>(評価):—</p> <p>(今後に向けて):小鯖地区外からも多く応募も受け付けるような体制を検討します。</p>
------	--

事業名	8-② ふれあい配食
事業費	31,581円
事業概要	<p>(実施内容):「ふれあい配食」弁当を効率的、衛生的に調理出来るように調理器具(フライパン)の補充を支援しました。</p> <p>(実施時期):ふれあい配食(10、12月は実施)(3月度は、コロナ感染予防で中止。)</p> <p>(参加人数):毎回 約100食を配っています。</p> <p>(成果): 独居高齢者の見守りも兼ねた取組みであり、少ない配食回数ですが、非常に喜ばれている事業になっています。</p> <p>(評価):—</p> <p>(今後に向けて):調理や食中毒対策に対応した器具補充を継続して取り組みます。</p>

事業名	8-③ 小鯖地域敬老会(送迎バス代助成)
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容):小鯖地区社会福祉協議会の事業である小鯖地区全体の敬老会開催ですが、令和2年度は地区単位開催のため助成しませんでした。</p> <p>(実施時期):—</p> <p>(参加人数):—</p> <p>(成果):—</p> <p>(評価):—</p> <p>(今後に向けて):令和3年度は、小鯖地域敬老会開催が予定されています。</p>

事業名	8-④ 子育てサロン支援
事業費	38,400円
事業概要	<p>(実施内容):地区内住民の要望に応え、色々子育てについて若い親の相談相手をする「子育て支援活動」(実施主体:子育て支援連絡協議会)を支援しました。座敷用椅子、幼児用椅子を購入しました。</p> <p>(実施時期):毎週木曜日(10:00～15:00)</p> <p>(参加人数):毎週約5組程度</p> <p>(成果):「子育て支援」に関する意見交換が多く出て、若い親に喜ばれています。</p> <p>(評価):—</p> <p>(今後に向けて):継続して「子育て支援活動」を支援して行きます。</p>

事業名	8-⑤ 小鯖っ子見守り隊支援
事業費	42,020円
事業概要	<p>(実施内容):小鯖っ子の登下校時の安全を期し、見守り活動を年間通じて行なっています。令和2年度においては、マグネット式「見守り中」パネル作製しました。</p> <p>(実施時期):令和2年4月～令和3年3月</p> <p>(参加人数):現在見守り隊登録の会員数は 約85人です。(高齢化が進み、実質減少傾向)</p>

	<p>(成果): —</p> <p>(評価): 安心感が醸成されつつあり、地区住民からは感謝されています。</p> <p>(今後に向けて): 見守り隊員の高齢化も進み隊員数も減少しています。小鯖っ子を大事にする気持ちで、継続して取り組んでいます。高齢で活動が無理になったという申し出や、少子化でこの通学通路を通う児童がいなくなったので見守る必要がなくなったとかで、実質的に活動支援出来る会員を見直し、名簿を整理する必要になって来ています。</p>
--	---

事業名	8-⑥ 青色防犯パトロール活動の支援 /
事業費	58,978円
事業概要	<p>(実施内容): 夕方6時頃、小鯖地域内を車で見守り巡回をして、児童の防犯・安全を見守ろうと自主的に立ち上がった青色防犯パトロール隊の活動に対して、ガソリン代支給という形態で支援しました。</p> <p>(実施時期): 毎週1回巡回 令和2年4月 ~ 令和3年3月(以降も継続)</p> <p>(参加人数): 活動メンバー 6人 交代で参加 (年間約4,500km走行)</p> <p>(成果): 現時点、トラブル確認もなく巡回パトロール出来ていています。</p> <p>(評価):</p> <p>(今後に向けて): 今後も継続して支援します。</p>

事業名	8-⑦ 防犯灯設置推進補助 /
事業費	8,000円
事業概要	<p>(実施内容): 新規・取替え設置 1灯に対し、2,000円の助成をしました。</p> <p>(実施時期): 年間</p> <p>(参加人数): 取付自治会からの申請に基づき 4件補助金を交付しました。</p> <p>(成果): —</p> <p>(評価): —</p> <p>(今後に向けて): 防犯安全観点から、今後も助成を継続します。</p>

事業名	8-⑧ 花いっぱい運動推進
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): 公共の花壇の整備をする各団体(自治会、子ども会を除く)に対し、その整備費用に対して助成します。</p> <p>(実施時期): 令和2年6月~令和3年1月</p> <p>(参加人数): 応募なし</p> <p>(成果): —</p> <p>(評価): 助成内容の見直しについて、理解が得にくかったことと、従来から手続きが面倒くさいという率直な意見もあり、申請につながら無かったと思われまます。</p> <p>(今後に向けて): 環境美事業は次年度以降も継続して実施します。広く認識してもらうために、広報紙「おさば」以外による広報活動も併せて検討します。</p>

事業名	8-⑨ 一斉清掃活動推進 /
事業費	129,730円
事業概要	<p>(実施内容): 道路・河川・広場等の清掃共同活動を実施する自治会団体に対し、その整備費用に対して助成しました。(各地区、年2回まで)</p> <p>(実施時期): 令和2年4月~令和3年3月</p> <p>(参加人数): 延べ26地区 (年2回まで助成)</p> <p>(成果): コロナ禍により、団体数として、前年度より減少しましたが、環境美化は維持されています。</p>

	<p>(評価): 小鯖地区全体として、色々な清掃活動により一年を通して整備されています。本取組みも、定着して来ています。</p> <p>(今後に向けて): 環境美化事業は次年度以降も継続して実施します。前項と同様に、広く認識してもらうために、広報紙「おさば」以外による広報活動も併せて検討します。</p>
--	--

事業名	8-⑩ 猫・TNR活動補助 /
事業費	35,217円
事業概要	<p>(実施内容): 飼い主のいない猫を増やさないように、地区サークルで取り組むTNR活動費用の一部を補助しました。</p> <p>(実施時期): 令和2年7月～令和3年3月</p> <p>(参加人数): 3団体取組み (メス4匹、オス4匹) 不妊手術</p> <p>(成果): 周辺の野良猫の行動が心配で、早い内に何とかしなければという機運が生まれてきています。</p> <p>(評価): —</p> <p>(今後に向けて): 猫の繁殖は、想像以上のもので、動物愛護の観点からも、早い内に不妊手術を進め、トラブルにならないよう継続して進めます。</p>

事業名	8-⑪ 小鯖夏まつり /
事業費	185,960円
事業名	小鯖ふるさとまつり
事業費	256,300円
事業概要	<p>(実施内容): コロナ禍により「まつり」が中止となり、次年度に向けた用品購入費用を助成しました。(白ちょうちん、法被、音響装置)</p> <p>(実施時期): 中止</p> <p>(参加人数): —</p> <p>(成果): —</p> <p>(評価): —</p> <p>(今後に向けて): まつり開催助成は、継続して行います。</p>

事業名	8-⑫ 若者のびのび事業 /
事業費	60,000円
事業概要	<p>(実施内容): 若い世代が主体になった企画提案事業について取り上げ、助成をしました。Ⅰ期において、鳴滝河川プール上流にて「あゆつかみ取り」の企画提案があったが、コロナ禍及び安全上への配慮から中止。Ⅱ期において、竹馬の手作りも中々難しい面から鉄馬購入の提案があり、採用。(Ⅰ、Ⅱ期併せての予算60,000円で鉄馬購入)</p> <p>(実施時期): 若者のびのび事業(Ⅰ期 1件、Ⅱ期 1件)</p> <p>(参加人数): 鉄馬 15セット</p> <p>(成果): 適する竹の大量(50セット)の調達や競技用としての竹馬の品質確保が手作りでは困難になって来ています。ただし、小鯖伝統の手作りの竹馬は、今後も大事にして行きたいという声もあります。</p> <p>(評価): —</p> <p>(今後に向けて): 新規開拓する事業取組みは継続して推進します。</p>

事業名	8-⑬ さばろっち活動
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): ゆるキャラ「さばろっち」(着ぐるみ)を活用し、地域内の行事等に参加し活性化すると共に、地域外のイベントにも積極的に参加してその場を盛り上げ、小鯖のPR活動に努めるのが目的の事業ですが、令和2年度はコロナ禍によりイベント参加なしに終わりました。</p>

事業概要	<p>(実施時期): 令和2年5月 ~ 令和3年3月</p> <p>(参加人数): -</p> <p>(成果): イベント参加がない反面、SNS等で「さばろっち活動」を発信する。</p> <p>(評価): 種々のメディア情報利用して広報活動も向上しています。</p> <p>(今後に向けて): 日程を調整しながらのメンバー活動で大変苦勞が多いので、メンバー補充をしながら幅広く活動できるよう進めます。</p>
------	--

事業名	8-⑭ 竹馬世界選手権大会 /
事業費	60,155円
事業概要	<p>(実施内容): 今回で第4回目となる「竹馬世界選手権大会」開催を企画しましたが、約200名近くの参加となる為、コロナ感染を考え、早期に中止を決定しました。手作りの竹馬準備も困難で、今後の事も考え、「若者のびのび事業」と同様に、鉄馬を購入して備えることにしました。</p> <p>(実施時期): 令和3年2月21日予定でしたが、コロナ禍により、9月時の役員会にて中止決定しました。</p> <p>(参加人数): 鉄馬 15セット</p> <p>(成果): 『若者のびのび事業』と同様に、適する竹の大量(50セット)の調達や競技用としての竹馬の品質確保を重要視しました。</p> <p>(評価): -</p> <p>(今後に向けて): 地区外からの交流も増え小鯖の文化を保存する意味で、小鯖伝統の手作りの竹馬は、今後も大事に行きます。竹馬大会の多くの人の関わりで運営する取り組み方を他の事業に参考にして進めます。</p>

事業名	8-⑮ 社会教育協賛 /
事業費	81,800円
事業概要	<p>(実施内容): 中学校区域の健全育成への運動へ協力活動(大内小鯖地域協育ネット)しました。鳴滝公園横の「中原中也詩碑説明板」文言の修整を実施しました。(鳴滝プール管理は、コロナ禍により中止しました)</p> <p>(実施時期): 大内小鯖地域協育ネットの活動支援(令和2年11月末)、中原中也詩碑説明板修正(令和3年3月)</p> <p>(参加人数): 大内小鯖地域協育ネットのリーフレット 300枚分負担、中原中也館と文章調整。</p> <p>(成果): リーフレット配布により、健全育成運動の意識向上に繋がっています。</p> <p>(評価): -</p> <p>(今後に向けて): 大内小鯖地域協育ネット活動に対しては、今後も協力して行きます。鳴滝プールについては、自然のきれいな水の中で遊ぶことが出来るということで、小鯖地区外からも多くの親子連れに利用されていて評判になっているので継続して進めます。</p>

事業名	8-⑯ 小鯖これからプロジェクト /
事業費	835,232円
事業概要	<p>(実施内容): 第4次地域づくり計画策定に向け、令和2年度において「全住民アンケート調査」実施することとして推進しました。各地区自治会長の協力も必要で、役員や自治会長も含め説明会を開催し、データ集計や専門的な分析には外部も含めた協力体制で対応し、それぞれの段階で関係者と調整して推進しました。</p> <p>(実施時期): 6~7月説明会 8月アンケート内容検討 9月アンケート用紙作製 9月末 各地区自治会長から全住民へ配布 10月末回収 11~12月 データ集計 1~2月 専門家によるデータ分析、意見交換会 3月初め報告書作製 3月中旬 全戸配布</p> <p>(参加人数): プロジェクトの構成員(協議会事務局役員、地域交流センター地域担当、協働推進課、やまぐち県民活動支援センター、山口市市民活動支援センター、山口市北東地域包括支援センター)、データ集計時は外部の専門協力者(NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター)</p>

	<p>(成果):3月時点で分析結果をまとめた「アンケート報告書」を作製し、全戸配布。</p> <p>(評価): —</p> <p>(今後に向けて):次年度以降、世代別報告会、テーマ別ワークショップ、計画策定委員会の取組みに向け、最重要課題として取り組みます。</p>
--	---

事業名	8-⑰ 掲示板・反射鏡設置補助
事業費	50,000円
事業概要	<p>(実施内容):地域のコミュニティ活動を促進する目的で、掲示板設置。交通事故防止の目的で里道に反射鏡設置。これらの事業について助成をしました。</p> <p>(実施時期):令和2年5月～令和3年3月</p> <p>(参加人数):反射鏡設置(5月1日)1件</p> <p>(成果): —</p> <p>(評価): —</p> <p>(今後に向けて):地区の要望に応じて、継続して推進します。</p>

その他

事業名	予備費
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容):</p> <p>(実施時期):</p> <p>(参加人数):</p> <p>(成果):</p> <p>(評価):—</p> <p>(今後に向けて):</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。